

1人の首切りも許さない

N関労東 2015.5 No63

東日本NTT関連合同労働組合

東京都千代田区岩本町2-17-4 NS20ビル1階 労働運動センター
TEL(03)5820-2070 FAX(03)5820-2080
E-mail info@n-kanrou.com http://www.n-kanrou.com

発行責任者:奥山 信義 編集責任者:田原 博

評価の誤り、NTT認める

仕事を知らない課長がデタラメな評価 裁判でやっと決着!! 成果主義は欠陥制度

NTT西日本の設備系地域会社に在職する田植重男さんは、全社員販売の実績ゼロを理由に、11年に業績評価を最低の「評価(旧リ評価)」とされ、評価と比べてボーナスと成果手当を合わせて約13万円も減額されました。全社員販売は業務外で評価の対象ではありません。会社と交渉しても「厳正に評価した」と言うばかりです。そこで、裁判となりました。提訴から2年余り、やっと会社は和解に応じ、田植さんに解決金40万円を支払うことで、実質的に評価の誤りを認めました。



T課長が証言した2015年1月16日
大阪地裁に駆けつけた傍聴者たち

仕事を知らず 全社員販売で評価

11年春に着任したばかりのT課長は、年末ボーナスの評価に向けた面談で田植さんに、「皆さんの仕事はよくわからないから、今回は全社員販売で評価します」といって、最低の評価をつけました。

全社員販売は義務 ではない!! 最高裁判例

しかし、別の裁判でNTTグループの全社員販売は義務づけられた仕事ではないと最高裁で判断が示されています。

したがって、全社員販売の結果を理由に、評価とすることは、違法行為・人事権の濫用となります。

裁判で 評価の 具体的理由を示せ

裁判では姑息にもNTTは、販売は協力依頼で評価の対象ではない。田植さんを「評価としたのは、担当していた業務の改善提案がなかったこと等が理由」と、主張を変えました。しかし、T課長は裁判で、

評価とした具体的根拠は示せませんでした。

【原告代理人】田植さんは11年当時どんな改善提案をしなかったのか。

【T課長】例えば過去に、テレコン装置で配線誤り、接続誤り等が多く発生しているの、そうした改善策をたてなかったことだ。

【原告代理人】過去の例ではなく、11年当時どんな改善提案をあなたは期待していたのか。

あなたの悩みを 一緒に解決します

こんなことはありませんか
突然解雇を告げられた
残業代がもらえない
セクハラ、パワハラを受けた
労働時間が延長された
有給休暇がもらえない
賃金の支払が遅れている
など

秘密厳守
労働相談ほっとライン
03-6806-0255

成果主義の廃止へ

【T課長】いま言ったことでは不十分なのか。
【裁判官】11年当時の問題点と、それに対する改善提案があったのかどうかを田植さん側は尋ねている。
【T課長】当時はごさいますんでした。

無くしたい 誰かがババを引く制度

田植 重男

私は過去、評価を2回受けました。1度目は、「モチベーションが低い」と言われました。私もそれほどモチベーションは高い方ではないと自分でも思っています。評価を受けるほど低いとは思っていません。

誰かがババを引かされる制度は反対です。今後、安易に評価を出させないよう監視し、評価制度の透明性・不合理性に対して闘っていきたいと思います。

2度目の 評価は全社員販売の実績ゼロが理由です。しかし販売は本来業務では

「誠実なものでした。ある人は「要らんことを言う」「口のきき方が悪い」

しも聞こえてきます。被告・NTT側が解決金

また、たくさんカンパ

40万円を支払うという事は、評価の取り消しはしないも

うございました。

また、たくさんカンパ

私たちは、成果主義の廃止と大幅賃上げをめざし、たたかうことが大切です。

海外で戦争する国をめざす安倍政権 5月に戦争参加法を国会に提案か

安倍政権は、平和憲法を骨抜きにして、米軍とともに全地球規模で戦争に参加できるようにする関連法案を夏までに成立させるとしています。そして、自民党は来年の参議院選挙後に憲法改正の発議を検討しています。命と暮らし、憲法を破壊する安倍政権の暴走をストップさせましょう。

通すな！ 戦争参加法

安倍首相が米国議会の演説で、夏までに成立させるとした安全保障法制とは、アメリカなどが世界で起こす戦争に自衛隊を参戦させて、日本を海外で戦争する国に作りかえる、「戦争参加法」です。これが、安倍首相や自民党がいう「積極的平和主義」の正体です。



5月3日の憲法記念日、「憲法最大の危機」を訴え横浜で3万人の大集会

私たちは、こうした憲法違反の「戦争参加法」を絶対に通してはいけません。世界に誇る9条を守り抜きましょう。



イラク復興支援の自衛隊員
28人が自殺、1割以上が精神不調
= 2014年4月16日NHK
クローズアップ現代より =

イラクに派遣された自衛隊は「非戦闘地域」での医療支援や給水、道路の修復など、人道復興支援活動でした。しかし、迫撃砲やロケット弾による自衛隊宿营地への攻撃は、13回に及び有事に近い状態でした。

NHKの調べでは、イラク派遣は5年間で延べ1万人。このうち帰国後28人が、みずから命を絶ちました。派遣された約4,000人の内部調査では、睡眠障害や不安など心の不調を訴えた隊員は、どの部隊も1割以上。中には3割を超える部隊もあった、としています。

米軍などとともに戦争に参戦することは、こうした悲劇が、さらに拡大します。

戦闘・戦争に巻き込まれる危険性

例えば、日本の輸入原油の8割が通る中東のホルムズ海峡に機雷がまかれ、石油の輸入が長期間止まり経済危機が起きれば、戦争中であっても機雷掃海（機雷の撤去）ができる可能性がある、と、繰り返し安倍首相は答弁しています。

戦争中の機雷掃海は、相手国から見れば武力行使（攻撃）となり、戦争へと巻き込まれる可能性があります。

また、アメリカの「テロとの戦い」に参戦したイギリスやスペイン国内では、列車爆破テロで尊い人命がたくさん失われました。

安倍政権は命や幸福を奪うな

日本国憲法の三大原則は「国民主権、戦争放棄、基本的人権」の尊重です。そして、一人ひとりの人間がかけがえない大切な存在であり、幸福を追求する権利があると日本国憲法は定めています。その一人一人のかけが

えない命や幸福を奪うのが戦争です。自衛隊を戦地に派遣して殺し殺される戦闘を行う道は、許すわけにはいきません。安倍政権の「戦争参加法」を廃案に追い込み、平和憲法を守り抜きましょう。

映画紹介 44

この作品は人々の心を癒し魂を静かに洗い清めてくれます。ブラジルのセントラル・ステーション（中央駅）で代筆業を営む中年の女性ドーラと交通事故で母親を亡くし孤児になった少年が、住所だけを頼りに少年の父を捜すために旅に出るとい物語。これだけ書くと使い古されたよ

セントラル・ステーション

監督 フランク・ダラボン

の中でも生きていることへの感謝の気持ちを忘れないブラジル人の気質が見事に描かれます。それらの人々の言葉を文書に

するドーラ。実はこの女がとんでもない食わせ物。代筆しその手紙を出すことを請け負い商売にしているが、頼んだ人たちにとって大切な手紙を捨ててしまう。過程は緩やかで感動的です。二人の人格とともにアメリカの裏庭などと言われている中南米の現状を随所に見せながらヒューマンで心温まる作品になっています。1999年 アメリカ。(み)

